

震災関連死は生ませない!! 鳥取県中部地震 鳥取民医連・鳥取医療生協 合同対策本部ニュース

2017年1月31日

vol.19

発行元：鳥取県中部地震 鳥取民医連・
鳥取医療生協合同対策本部
連絡先：0857-24-6161

鳥取県中部地震復興支援「新年のつどい」 参加者182名 笑顔と元気をもらった!

1/29 (日) 上灘公民館 様々な企画に感動の3時間!!

10/21に発生した鳥取県中部地震から3ヶ月が経過した1/29(日)、倉吉市内で大きな被害があった上灘(うわなだ)地域の公民館で「新年のつどい」を開催しました。地震で被災された組合員及び地域住民を元気づけることと、鳥取県中部地域で鳥取医療生協の認知を高め、さらに発展させていくことを目的に多彩な企画で楽しい時間を過ごすことができました。

午前10時過ぎより組合員をはじめ、上灘地域の住民や親子連れの方など、スタッフを含めた約182名の参加で新年のつどいがスタートしました。

今回の元気が出来る企画は、東京から来て頂いた「講師：田辺鶴瑛(たなべ かくえい)氏、自ら両親の介護をユーモアたっぷりお話していただき、会場は笑い声で一杯となりました!!



オープニングの「希望太鼓」を皮切りに、大正琴と皿回しが披露され、会場は熱気に溢れました!!

希望太鼓は、地域で活動されている福祉施設の利用者の方々です。この日はエントランスでの披露で、1週間前に積もった40センチの雪を吹き飛ばす様な力強い太鼓でつどいがスタートしました。



オープニングは「希望太鼓」

らは大きな歓声と拍手を頂きました。

会場内では、地域の組合員による出し物がスタート!。「大正琴」は皆さんが良く知っている歌謡曲に合わせて素敵な音色を奏でいただきました。

「皿回し」は、皿と座布団を回され、会場か



「安来節」など4曲を披露



「皿」と「座布団」を回しました

講談：「実体験！！介護を楽しく応援する」

■今回のメイン企画は講談師：田辺一鶴の弟子の田辺鶴瑛氏による講談です。10歳代で実母、20歳代で義母、50歳代で認知症の義父を介護された実体験を楽しくお話していただきました。■夢の中で田辺一鶴が現れ、一ヵ月後に新聞で見た田辺一鶴の「講談修羅場道場開講」の記事に「これだ！」と思い入門されたとのこと。■認知症の義父の介護の様子をDVDで放映され、楽しく介護されている様子が同え、参考になるお話でした。



講談師：田辺 鶴瑛 氏



ゴスペルオーブの皆さん

■「ゴスペルオーブ」は米子市を中心に山陰各地で生歌～演奏をされているグループでメンバーは3人～40人、今回は6人の方に来ていただきました。会場内を回りながら生歌を披露していただき、参加者も一緒に手拍子されるなど活気溢れる時間を過ごすことが出来ました。■6人の内1人は倉吉市出身、もう1名は米子医療生協の職員で身近な方でした。■華やかな歌声で40分間があっという間に過ぎた楽しい時間でした。



実行委員長の林専務より挨拶



前日～当日の準備ありがとうございました



バルンアート会場は子供達で一杯！



元倉吉診療所長：山上医師



鳥取県生協からコーヒーを無料で提供



増井理事の司会でスタート



食事会場は大盛況、うどん、豚汁、おむすび

■鳥取県中部地震発生から3ヶ月が経過しました。1月23～24日には山陰特有の大寒波が襲来し、倉吉地域でも40cmの積雪となり、屋根瓦にブルーシートの家屋では二次災害の恐れもあります。今回の中部地域「新年のつどい」以後も医療生協らしい支援活動の取り組みと同時に、医療生協の健康づくり等を軸とした活動をすすめて行く予定です。

■新年のつどい参加者の皆さんからは素敵な笑顔が見られました。その笑顔が継続できるよう、地域で安心して生活できる地域づくりに組合員・職員が一緒になって取り組んでいきましょう。